

入札公告

(説明書)

次のとおり一般競争入札に付します。

令和6年8月7日

社会福祉法人^{恩賜財団}済生会西条病院

院長 石井 博

1. 入札概要

- (1) 件名
X線骨密度測定装置 一式
- (2) 内容
別紙「仕様書」による
- (3) 納入場所
済生会西条病院 画像センター
- (4) 納入期日
令和6年12月末日

2. 参加する者に必要な事項

次に掲げる要件をすべて満たす者であること。

- (1) 地方自治法施行令（昭和22年政令第16号）第167条の4の規定に該当しない者であること。
- (2) 参加資格確認申請日から入札実施日までの間、愛媛県知事が行う入札参加資格停止の期間中でない者であること。
- (3) 法人の支部長若しくは支部長の親族（6親等以内の血族、配偶者又は3親等以内の姻族）が役員に就いている業者など、法人の支部長が特別の利害関係を有する業者でないこと。
- (4) 本件の仕様に適合する物品であることを確認できる者であること。
- (5) 本件を納入期日までに納品することが可能な者（確約書要）
- (6) 200床以上の医療機関において業務委託実績を有すること。
- (7) 同一入札に親会社・子会社（会社法第2条第3号及び第4号に規定）の参加があった場合には入札を制限する。

3. 本件に関する事項等

- (1) 説明書等の配付場所及び問い合わせ先
済生会西条病院 事務長 矢野 泰利 又は 用度課（0897-55-5436）一色
愛媛県西条市朔日市269-1
電話番号 0897-55-5100 FAX番号 0897-55-6766

(2) 説明書及び仕様書の配付

ア 配付期日

令和6年8月7日(水)～令和6年8月27日(火)

イ 配付場所

(1)に同じ。

(3) 入札実施日

ア 日時

令和6年8月28日(水)10時30分～

イ 場所

済生会西条病院 2階講堂

4. その他の必要事項

(1) 本件において使用する言語及び通貨

日本語及び日本国通貨

(2) 保証金

保証金は免除する。

(3) 参加者に要求される事項

本件に参加を希望する者は、事前に参加資格確認申請書を提出すること。

なお、当該申請書の内容に関し、説明を求められた場合は、これに応じなければならない。

・提出書類

【8月27日(火)までに提出する書類】

参加資格確認申請書

登記簿謄本(写し)もしくは、官公庁入札参加証明書(写し)

直近年度分決算書(書式自由)

受託業務実績一覧

資本関係・人的関係書

【8月28日(水) 当日持参する書類】

委任状(代理人の場合のみ)

入札書(3ヶ所に割印・糊つけ封印した入札書用封筒に入れたもの)

入札書・封筒の予備(2回目以降分)

名刺

・提出先 3-(1)と同様

(4) 入札の無効

2に掲げる資格を有しない者が参加した場合

参加者に求められる義務を履行しなかった者が参加した場合

説明書に違反した場合

(5) 契約書作成の要否

要 契約に至った場合には速やかに契約書を作成すること。

(6) 落札者の決定方法

予定価格の範囲内で、最低価格を提示した者を落札者とする。

予定価格の範囲内の価格での入札がないときは、再度の入札を行う。(再度入札は最低価格を下回る金額を提示のこと。最低価格を下回る入札ができない場合は辞退となる。) 入札回数は3回を限度とし、予定価格の範囲以内にて同額の提示があった場合には抽選にて決定する。落札しない場合においては、最低価格提示者との見積もり協議に移行する。

(7) お願い

入札時、状況写真をとらせていただきます。目的を保管用としており目的以外に使用いたしませんのでご了承ください。

X線骨密度測定装置 仕様書

(性能・機能に関する要件)

1. X線発生方式とスキャン方式

- 1-1 二重X線発生方式はスイッチングパルス方式、またはフィルター方式であること。
- 1-2 使用管電圧はスイッチングパルス方式の場合は100kVpと140kVpの2種類を使用し、フィルター方式の場合は76kVpを使用していること。
- 1-3 測定方式は、DXA法であること。
- 1-4 X線ビーム照射方式は、扇状ファンビーム方式または鋭角ファンビームSmartScan方式であること。
- 1-5 部位は、AP腰椎、大腿骨、全身、前腕骨がスキャンできること。
- 1-6 AP腰椎 (L1～L4間15cm体長軸領域)のスキャン速度は10秒の機能を有すること。
- 1-7 大腿骨 (15cm体長軸領域) のスキャン速度は10秒の機能を有すること。
- 1-8 前腕骨 (10cm体長軸領域) のスキャン速度は20秒の機能を有すること。
- 1-9 前腕骨のスキャンは、座位及び仰臥位で可能であること。仰臥位でのスキャンが出来ない場合は、受診者へ無理な体位を強いらせる場合があるので前腕骨専用骨密度測定装置を準備すること。
- 1-10 全身のスキャン速度 は 295秒以内の機能を有すること。
- 1-11 スキャンの範囲は、1970mm× 600mm以上であること。
- 1-12 測定開始毎のキャリブレーションは、受診者に被ばくをさせないファントムによる自動内部キャリブレーションシステム機能、または検査前のQCチェック時と同時に行う機能を実装していること。

2. X線検出器

- 2-1 検出方式はマルチディテクター方式であること。
- 2-2 検出器数は、X線ビーム照射方式が扇状ファンビーム方式の場合はGOSシンチレータ+シリコンダイオード検出器216個で、X線ビーム照射方式が鋭角ファンビームSmartScan方式の場合はLYSOシンチレータ検出器16個であること。

3. 患者テーブル

- 3-1 テーブルは固定方式、または患者の体位及び撮影部位に合わせてテーブルが前後方向に稼働する方式であること。
- 3-2 装置本体側で稼働方式テーブルまたは検出器アームを制御できるように、コントロールパネルを有すること。
- 3-3 患者用固定として、腰椎測定用足乗せ台及び大腿骨測定用固定具を有すること。
- 3-4 患者の位置決めの為、クロスレーザーポイントを実装していること。
- 3-5 患者テーブルと検出器部のクリアランスは43cm以上であること。
- 3-6 全身測定の際は、稼働方式テーブルの場合は左右に50cm以上稼働すること。

4. 画像処理装置

- 4-1 CPUの演算機能は、Intel(R)Core(TM)i3 同等以上であること。
- 4-2 ハードディスク装置は物理的記憶容量が1TB以上のものを実装していること。
- 4-3 測定結果保存のため、DVD/CDドライブ装置及び外付けハードディスク装置500GB以上を実装していること。

5. 測定・分析用ソフト

5-1 以下の測定・分析用のソフトウェアを有すること。

腰椎正面測定（1-6の項目）/側弯症測定、大腿骨測定（1-7の項目）、全身骨/体組成（1-10の項目）、前腕骨測定（1-8の項目）、比較解析、7関心領域設定、大腿骨及び腰椎金属除去、石灰化除去、軟部組織データの収集を行わずに骨密度値の解析など

5-2 海綿骨構造指標（TBS）測定解析ソフトを有し、TBS解析時は骨密度解析のROI設定と自動連動出来、骨密度解析のバックグラウンドで自動平行解析を行えること。

5-3 以下の管理データソフトウェアを有すること。

ノーマルデータ表示（Tスコア、Zスコア、変化率表示）QCソフトウェアを有すること。

5-4 生データをメモリしており、再解析が可能であること。

5-5 解析時にヒストグラム機能、および解析時の画像の拡大率変更及びW/CとW/Lの調整機能を有すること。

5-6 過去の受診者データ（患者ID、カナ及びローマ字の患者名、生年月日、性別、BMD値、YAM値）を装置本体に取り込み、過去のデータの再解析及び結果比較の表示が装置本体で可能で、診断に使用出来ること。

6. モニター及びプリンタ機能

6-1 モニターは、対角 21.5型以上の液晶カラーモニターであること。

6-2 印刷方式はインクジェットまたはレーザープリンターであること。

6-3 印刷用紙サイズは、A4サイズを含んだ複数に対応していること。

6-4 検査結果レポートのレイアウト及びフォーマットは、既存装置で診断に使用されているフォーマットと同等以上であり、また登録されるフォーマット数の同等以上であること。

7. QC及びネットワーク接続

7-1 精度チェック用として、品質管理用 QCファントムを備えていること。

7-2 装置本体にはMWMよりローマ字及びカナの患者属性の取得機能、及びDICOM規格にてPACSへ送付する機能を有すること。本機能を有しないならば、GateWay機能にて相当の機能に対応すること。

7-3 装置本体にはDICOM規格の被曝線量管理機能RDSRに対応していること。本機能を有しない場合はGateWay機能で対応すること。

7-4 装置本体にて受診者の検査結果レポートをDICOMフォーマットでPACSに送付する際、検査時の線量管理レポートも付属送付出来る機能を有すること。本機能を有しない場合は、GetaWay機能で対応すること。

〔性能・機能以外の要求要件〕

1. 周辺装置

1-1

1-1-1 作業台及び作業用椅子を有すること。

1-1-2 受診者昇降用の踏み台を準備すること

1-1-3 レポート出力用のレーザープリンタを有すること。

1-1-4 QAファントムを有すること。

1-1-5 腰椎ファントムを有すること。

1-1-6 各種患者用ポジションを有すること。

2. データ移行

2-1 データ移行については以下の要件を満たすこと。

2-1-1 既設装置で得られた画像、及び腰椎と大腿骨の過去の骨密度測定結果を本装置にインストールし、得られたデータ、BMD値及びYAM値の解析結果などの診断可能な比較をレポートに表記可能であること。

3. ネットワーク接続

3-1 ネットワーク接続については以下の要件を満たすこと。

3-1-1 骨密度測定装置本体がDICOM3.0に準拠し、StorgeやMWM、MPPS、RDSRの各出力に対応していること。

3-1-2 日本語カナによる患者情報取得に対応していること。

3-1-3 本院既存の放射線検査情報システムと接続し、患者属性情報及びオーダー番号（アクション番号）を取得できる機能を有すること。

3-1-4 本院既存の医用画像情報システム（PACS）への画像転送及び保存する機能を有すること。

3-1-5 既存画像管理システム（アストロステージ社）とのモダリティ接続インターフェイス費用Stoarge、MWMを入札価格に含めること。

3-1-6 ネットワーク接続に関しては、本院の職員と事前に打ち合わせをし、了承を得たうえで行うこと。

4. サービス体制

4-1 サービス体制については以下の要件を満たすこと。

4-1-1 納入検査確認後1年間は、通常の使用により故障した場合の無償修理に応じること。

4-1-2 終日体制の連絡網を確立し、障害発生時には直ちに本院からの連絡が可能である状態とすること。また、緊急時には3時間以内に現場に到着し復旧作業を行える体制がとれること。

4-1-3 当院の計画停電時（停電時間6時間程度を年2回）に対応可能できるシステム及びサービス体制であること。

5. その他

5-1 その他については以下の要件を満たすこと。

5-1-1 調達機器の搬入・据付・配線・調整は納入業者の負担とし本院の職員と協議のうえ、指示に従うこと。

5-1-2 取り扱い説明に関する教育訓練は、本院が指定する日時・場所で行うこと。

5-1-3 操作マニュアルは日本語版を提供すること。

5-1-4 既存の骨密度測定装置撤去については、納入業者の責任において、本院職員と協議の上に安全・確実に実施すること。

5-1-5 この仕様書に定めない事項または疑義を生じた場合は、双方協議のうえその都度決定する。